研究協力のお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

なお、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：急性胆嚢炎に対する経乳頭的胆嚢ドレナージの検討

1、研究対象者および研究対象期間

2023年1月から2028年12月までに急性胆嚢炎に対して経乳頭的胆嚢ドレナージを施行された患者様

2. 研究目的・方法

急性胆嚢炎は、高齢者や併存疾患を有する患者では外科的胆嚢摘出術が高リスクとなる場合がある。このような症例に対しては胆嚢ドレナージが重要な治療選択肢となり、標準的なドレナージ方法として経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）という手技が確立している。近年、内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージ（ETGBD）は、外瘻を必要とせず出血や腹水症例にも適応可能な治療として注目され、その有用性の報告が増えてきている。しかしながら、手技成功率や適応、臨床的有用性に関する報告は十分とはいえず、さらなる検討が求められている。そこで本研究では急性胆嚢炎に対するETGBDの有効性および安全性について検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、基礎疾患の有無、総胆管結石の有無、抗凝固療法の有無、乳頭処置の有無、手技成功率、使用ステント・チューブ、処置時間、入院期間、偶発症（早期・晩期）、再発の有無、待機的な胆嚢摘出術の有無、最終転帰

末梢血液一般検査

主要評価項目：ETGBDの偶発症

副次評価項目：ETGBDに対する手技関連成績、臨床奏功率、長期成績

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

岐阜県総合医療センター　消化器内科　市川　広直
電話番号：058-246-1111